

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



コロナ禍の中で集中力を育む保育園年長組。
米国主催の気候変動に関する首脳会合で菅首相が功に吹っ飛ばされた。温室効果ガス排出に関する削減のロードである。
二〇五〇年度の排出削減目標に合わせた目標だ。
国際的にもそれなりに迫力のある野心的な数字であったろう。大見得か、吹っ飛ばされた菅首相には誇らしさがあつたという気候変動対策に背を向けてきたトランプ前政権から、意欲的なバイデン政権へと米國が変わること、我が國に求めるものも厳しくなつた。因らしい。
従来の目標が26%減したと云ふこと、経済界に難色をひきたす声があること、しかも、困難のほとんどは予想される。競争力を損なわれないようにしながら、目標達成はできるのか、再生可能エネルギーを導入するだけでは及ばないであろう。切り札を切った首相に具体的な筋道はみえてくるのか。



風呂の湯が少なければ、ひさを曲けてくれ。
そうすれば、湯まで湯が来る。そんな話で、欲望のほうを伸縮させると説いたのは三宮尊徳だったか。
社会の側にも、影響は大きいのである。
※「新聞のコラム100名選の一部から掲載」
新聞のコラム欄は、日本経済新聞、読売新聞、中日新聞、毎日新聞、朝日新聞、産経新聞、各紙を対象としたもので、
西山保育園 年長組

